What's New?

YA コーナーに新しく仲間入りした本をご紹介します

『なんで信長はお城を建てたの？　「お城」のはじまりを探す旅』

畑中　英二／著　にしざか　ひろみ／画　新泉社

中学１年生のホタカ少年は、お父さんに勧められて、夏休みに１人でお城をめぐる小旅行にでかけます。お城好きな人たちとの出会い、お堀・石垣・天守閣・お城を守るための様々な仕掛け…知れば知るほど奥が深いお城のヒミツに、ホカタ少年はどんどんお城の沼にハマっていきます。知らないことを知る楽しみやわくわく感を感じられる １ 冊です。ホカタ少年と一緒に、未知なるお城の世界に足を踏み入れてみませんか？

『１０代のためのお金と投資
今の君から将来の君自身へ、世界を広げる知識を備える』

大泉書店編集部／編　大泉書店

私たちの生活に欠かせない「お金」のこと、皆さんはどのくらい知っていますか？「詳しいことは知らない」「なんだか説明するのは難しそう」そんな苦手意識を持つ人もいるのではないでしょうか。

本書は学生のため、未来の社会人のための「お金と投資」がテーマです。お金の種類や役割といった基礎知識から、貯蓄・投資など、10 代で身につけたいお金のことがわかりやすく解説されています。

皆さんもこの本を読んで、正しいお金の使い方、付き合い方を学んでみてはいかがでしょうか。

◆ヤングアダルトとは、12～18 歳くらいのみなさんのことです。
◆本の表紙掲載については、出版社の許諾を得ています。

長岡市立地域図書館（7館）

■互尊文庫　TEL35-7981　■中之島地域図書館　TEL61-2165
■西地域図書館　TEL27-4900　■寺泊地域図書館　TEL75-5159
■南地域図書館　TEL30-3501　■栃尾地域図書館　TEL53-3005
■北地域図書館　TEL22-7100　☺お問い合わせは北地域図書館へ

〒940-0876 長岡市新保町 1399-3　mail:lib.kita@nscs-net.ne.jp
図書館ホームページ https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp

編集・発行／指定管理者　株式会社図書館流通センター（TRC）

長岡市立地域図書館（７館）ヤングアダルト向け図書館だより　2022.9.1 発行

YAN vol.85

色々なしごとの本、ご紹介します！

2022年秋号 テーマ・しごと

博物館のしごと

『ヴンダーカンマー　ここは魅惑の博物館』

樫崎　茜／著　上路　ナオ子／画　理論社

中学2年の職業体験で、たいして興味もなかった自然史博物館に行くことになった5人。それぞれに与えられた仕事の担当は、魚類・鳥類・哺乳類、古脊椎に無生物なんてよく分からないものまで。博物館は化石みたいな古い物を展示するところと思っていたら、なぜか港に連れていかれたり仕事の一環としてフライドチキンを食べることになったり…。実際に自分で触れて作業していくなかで、様々なことを未来に伝えようと頑張る人達に出会います。たくさんの面白い取り組みをしている博物館のこと、知ってみませんか？

あなたは将来、どんな仕事に就きたいですか？ 世の中にはたくさんの仕事があって、迷ったり、自分にできるだろうか…と悩んでしまうこともありますよね。そんな時は、ぜひ本を読んでみてください。ふとしたきっかけで、パッと道が開けることも あるかもしれませんよ。

しごとの本

1 『ローズの小さな図書館』　キンバリー・ウィリス・ホルト／作　谷口 由美子／訳 徳間書店

1939年のアメリカ。農場が干ばつにみまわれ、14歳のローズは家族のために進学をあきらめ、年齢をごまかして移動図書館のバスの運転手をすることになります。決して望んだわけではなかった境遇の中、ローズは前向きに、人々に本を届ける仕事に喜びを見出していきます。「作家になりたい」という夢を忘れなかったローズと、家族4世代の物語が紡がれます。

2 『2030年のハローワーク 5分でわかる10年後の自分』　図子 慧／著 KADOKAWA

「AI の導入により10年後には現在の仕事が半分になってしまう―」そんな話をきいたことはありませんか？学校の総合学習で「未来に残る仕事」について考えることになった5人の中学生。彼らはVRを使った仮想空間で未来の仕事を疑似体験する実験に参加します。想像とは違った未来予想図に不安になったり、理想の仕事に就くための指針を示されたり、迷いながらもそれぞれに可能性を探っていきます。

理想的な未来の仕事とはどんなものなのか、ぜひ本書を読んで、皆さんも一緒にシュミレーションしてみませんか？

3 『みかん、好き？』　魚住 直子／著 講談社

虫嫌いの拓海と、みかんが大好きで島に来たひなた、ちょっとやんちゃな柴の3人は、拓海の祖父のみかん畑を手伝うことになります。夏の草刈り、実の数を減らす摘果（てっか）、そして収穫…。みかんといえば冬のイメージですが、季節ごとに手をかけてきたからこそ、おいしいみかんが食べられるのだと分かります。読むとみかんが食べたくなる、甘酸っぱい青春物語です。

4 『ほどけるとける』　大島 真寿美／著 KADOKAWA

主人公の美和は高校を中退し、祖父が経営する大和湯という風呂屋でアルバイトを始めます。周りに流されるようにして毎日を生きていた美和は、大和湯に訪れる人との交流を経て、自身の将来を見つめ直していきます。

物語の舞台である風呂屋の仕事内容は簡単ではありません。掃除や鍵の整理、時にはタオルを卸している会社の社長さんと雑談をしたりと大忙しです。風呂屋のお仕事が少しだけわかる1冊になっています。

5 『ひかり舞う』　中川 なをみ／著　スカイエマ／絵 ポプラ社

時は戦国時代。明智光秀の家臣だった父を失い、主人公の平史郎は母と妹と逃亡生活をすることになります。苦しい生活の中で妹を亡くし、戦場で首洗いを始めた母とも別れる決意をした平史郎。男の子でありながら、武術が苦手な平史郎は、自分が布に魅せられることに気付きます。父が母に託した『慈しめよ』という言葉を胸に、着物を仕立てる「縫い物師」として、強く生き抜いていく平史郎の姿が描かれています。

1

図書館バス運転手

2

未来のハローワーク

3

みかん農家

4

銭湯アルバイト

5

縫い物師